

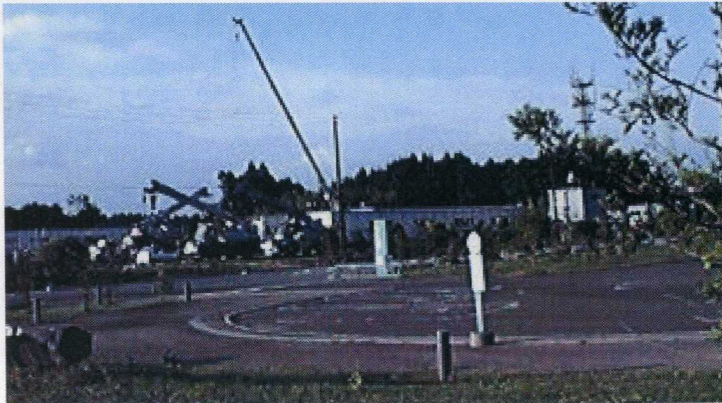






石巻市遊楽館(複合施設)

石巻市内から車で40分ぐらいの距離



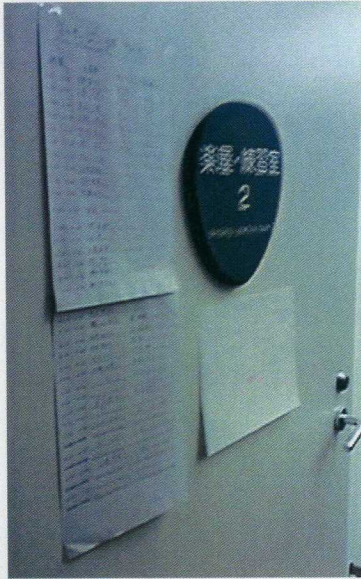
向かい側に仮設住宅が建設されている。  
こんな山の上で生活できるのだろうか・・・

震災時は200人程の要介護を必要とされる方々が避難されていたが、現在は40名ほど滞在している。ソーシャルワーカーが地元に残っている。

館内の避難スペースは、段ボールベッド(軽介護者)を中心に重介護者のベッドを周囲に配置(緊急時のため)している。

スタッフは、石巻市民病院の看護師(1/3の方が被災者でもある) 介護士、ヘルパー、PT、ソーシャルワーカー、薬剤師、社協職員等で約50名で2交代で24時間体制をとっている。





入口ドアの予約表は、あっという間に一杯になりました。皆さん疲れているのですね・・・



楽屋・練習室を借りてマットを敷き施術スペースにする。

## 遊楽館施設内

- ・活動日:7月17日
- ・活動時間:8:30~17:00
- ・活動人数:2名
- ・施術人数:合計34名
- ・施術者内訳(中野担当)  
肩コリ・腰痛2名、肩コリ14名、腰痛1名、  
首コリ1名、背部のコリ1名
- ・鍼灸治療を経験している人は2名と  
未経験者が多かった。
- ・主訴のほとんどが肩こり腰痛で占められていた。



# 渡波小学校

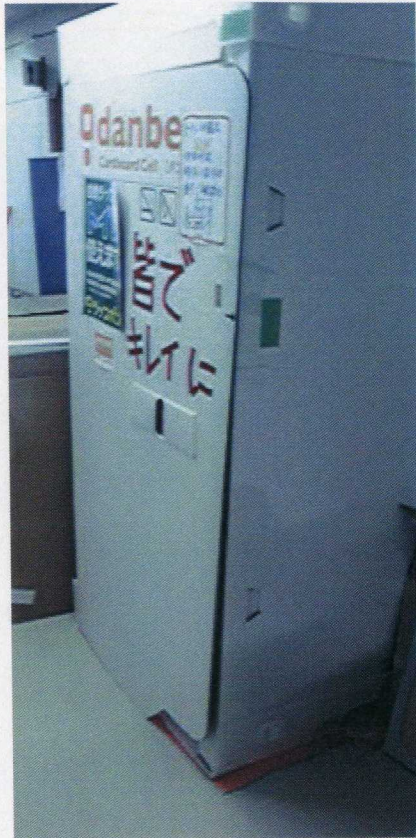


17日・18日とグラウンドでボランティアによる炊き出しが行われていた。

連日30度を越える夏日だったが、風があり東京ほど暑さを感じなかった。衛生状態が悪く、少なからずハエが飛び廻っていた。小学校は、海岸線に近く校舎の一階が浸水し1メートル40センチぐらいまで壁に津波の跡がついていた。校舎、の2階～3階と、体育館で避難生活をしている。下水道が復旧しておらず仮設トイレを使用している。一部水道は出るが手洗い用で水は飲めない。学校周辺の町も被害が大きく機能してないようだった。震災時は、1500人ぐらい避難していて石巻市で一番多かった。避難された方が最近仮設などに移りはじめた為に人が少なくなって、やっと足を伸ばして寝られると言っていた。



## 室内用簡易トイレ



高齢者や身体不自由な方が使用するトイレで、使用回数が50回と決まっている。使用ごとにボックス脇にチェックするようになっている。校舎内、体育館に数カ所置かれていた。



施術は体育館内の救護室で行った。(広さ6畳ほど)



活動日: 7月17日(日)

活動時間: 10:00~19:00

活動人数: 1名

施術人数: 午前中、来室5名(マッサージ5名)  
午後巡回5名(鍼1名、マッサージ4名)  
計10名

\* 滋賀県からの鍼灸師チーム3名が来ていた。

活動日: 7月18日(月)

活動時間: 9:00~12:00

活動人数: 2名

施術人数: 来室4名(鍼3名、マッサージ1名)  
巡回6名(マッサージ6名)  
計10名

\* アロマハンドマッサージのボランティアが来ていた。(10名ぐらいの団体)

